

～飛ぶ鳥の目に映る市川市～

みなさんは鳥瞰図を知っていますか。鳥瞰図は地図の技法の一つで、飛ぶ鳥の目線で上空からなめに見下ろしたように描いた図です。歴史博物館などで見ることができる1928(昭和3)年に描かれた「千葉県市川町鳥瞰」という絵図からは、当時の地域の景観や人々の生活の様子がうかがえます。

今回、この絵図を見ながら京成国府台駅北側の現在の街並みを歩いてみました。すると、現在もある商店、今も残る昭和初期のおもかげをたくさん見つけました。みなさんも過去の絵図から、現在の街で新しい発見をしてみませんか。

(広報広聴課 協力:歴史博物館)

現在の市川3・4丁目周辺は、当時「根本」という地名で呼ばれていた。現在でもいたるところに「根本」の名前を見つけることができます。

鳥瞰図では「国分」となっていますが、正しくは「国府」。

国府とは

飛鳥奈良時代と法整備が進み、律令国家が成立した8世紀ごろ、日本全土は60以上の国に分けて整備されました。そこでそれぞれの国に置かれた地方政治の中心地が国府(こくふ)です。

現在の市川市を含む千葉県北部から茨城県西南部、及び東京都埼玉県の一部にあたる地域を当時下総国といっていた。その国府が現在の国府台にあったとされています。この周辺に残っている「国府」の名前は、これに由来します。

市民におなじみの鳥村菓子。鳥瞰図が描かれる35年前の明治26年、この地に開かれた菓子店です。

鳥瞰図を見て、すぐに松井天山のものだと気付いた押賀さん。話を聞くと40年以上前、当時あった木造の家を取り壊す際に片付けをしていたら、松井天山の鳥瞰図が出てきたそうです。

市内広域を流れ、川沿いには桜並木の名所も多い真間川。この地で江戸川から分かれ、原木で東京湾に注ぎます。

▲春の美しい桜並木

▲成田山仏教図書館所蔵



過去と現在の街を飛び渡る

鳥瞰図から読み解く

鳥瞰図を見ると、松戸街道沿いに多くの商店などが建ち並んでいます。

商店が集まっていた理由としては、1885(明治18)年から1945(昭和20)年の終戦までの間、この地に軍隊が駐屯していたことがあげられます。多くの商店が軍隊相手の商売を営んでおり、「陸軍御用達」と宣伝していた商店もありました。絵図からも野戦重砲兵第七連隊の兵舎が大きく描かれるなど、軍隊の町として発展していた様子がうかがえます。

江戸川沿いをみると、東京から銚子方面へと航行する蒸気船の発着所である、東京通船銚子汽船扱所の棧橋なども描かれています。棧橋周辺には貸船、船大工の店もあり、東京と北総・東総を結ぶ水運の要所だったことがわかります。

鳥瞰図による記録からは、地理だけでなく、歴史や文化など貴重な情報を読み取ることができるのです。



▲斜面林北側の江戸川河川敷には以前造船所があった。

鳥瞰図で豆腐店がある場所には今は別の豆腐店が。おや、と思つて小林さんに話を聞くと、小林豆腐店は昭和の初めごろに浅草からこの場所に移ってきたそうです。鳥瞰図が描かれたすぐ後でしょうか。

昔のこの辺りの話を聞くと、向かいに根本寺があったと教えてくれました。現在、根本寺はじゅん菜池緑地近くの国府台5丁目にあります。鳥瞰図を見ると確かに、当時の根本寺は、国府神社と隣接していたんですね。



▲根本寺は昭和46年に移転。



もっとたくさん鳥瞰図を見たい方 もっと詳しく市川の過去を知りたい方 歴史博物館でお待ちしています

企画展 松井天山の鳥瞰図と市川市域

松井天山という絵師が1928(昭和3)年に描いた「千葉県市川町鳥瞰」と「千葉県中山町及葛飾村鳥瞰」。絵図に描かれた世界を、関連する写真や当時の店舗の看板など、実物資料を用いて紹介します。市川市域の昭和初期の様子を、絵図を通して見てみませんか。

開催期間 3月8日(日)～5月10日(日)

◆展示説明会

展示資料について歴史博物館の学芸員が解説します。申し込みは不要です。

日 3月15日(日)、4月4日(土)・18日(土)、5月5日(祝)・10日(日)、午後2時～2時40分

◆関連講演会

「鳥瞰図絵師・松井天山の画業と画風」松井天山の描いた鳥瞰図の特徴などについて紹介します。

日 3月22日(日) 午後2時～4時

人 先着60人

講 中西僚太郎氏(筑波大学人文社会系教授)

申 3月15日(日)までに ☎373-6351 同館

利用案内

入館は無料です。補助犬同伴可、車いす1台あり。

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始※5月1日(金)～10日(日)は7日(木)のみ休館。

交通案内

歴史博物館(堀之内2-27-1)

電車 北総線北国分駅より徒歩8分

バス JR市川駅より北国分駅行き

「堀の内三丁目」から徒歩5分、

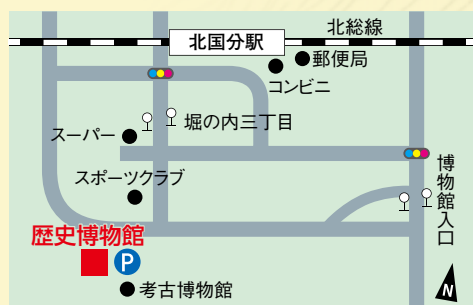
聖徳学園行き・松戸駅行き

「博物館入口」から徒歩10分

車 市川ICより約30分

駐車場 普通車30台、身障者など優先1台

※中・大型バスは利用不可。



安蛭さんは市川市と同じ昭和9年生まれの80歳。この場所ですぐに育った安蛭さんに話を聞くと、昭和40年代の途中まで、この辺りは鳥瞰図にあるとおりの街並みだったそう。大きく街が変わったきっかけは道路の拡張や線路の高架化。そういった変遷を経て今のようになつてつです。お話と一緒に、安蛭さんをお持ちの昔の写真なども見せてもらいました。



▲庄屋を営んでいたころの鬼瓦を木彫にしたものだろう。



☎373-6351 歴史博物館